

YKK AP 東北製造所 操業 50 周年記念式典を開催

— 東日本の中核製造拠点 —

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、東北製造所（所在地：宮城県大崎市三本木字吉田 1）操業 50 周年記念式典を 10 月 11 日に開催しましたのでお知らせします。

東北製造所は、1974 年 4 月に国内 3 番目のアルミ貫生産工場として操業を開始しました。現在はアルミ・樹脂素材製造、樹脂窓、アルミ樹脂複合窓、玄関ドア、木質インテリアなど住宅用商品をはじめ、エクステリア、ビルサッシ・カーテンウォール、産業製品などを生産し、東北エリアを中心に全国各地へ高品質な商品をお届けしています。「森の中の工場」を理想に掲げ、製造所内の約 5 万㎡の敷地面積を保有する「水公園」では、排水処理場にて浄化された水を、2～3 日間滞留・循環を繰り返すことで自然浄化させてから河川へ放流し、地域の環境との調和、保全に努めています。

記念式典では、安全祈願と今後の持続的成長の誓いとしての植樹を行いました。また、代表取締役社長 魚津 彰と上席執行役員 東北製造所長 木田 秀隆より、関係者の皆様へこれまでの感謝とともに、操業 50 年を機に地域との共存共栄をさらに深め、事業の持続的成長を目指すことをお伝えしました。祝賀会には宮城県 村井 嘉浩知事をはじめ、地元自治体の代表者、お取引企業など、合計 40 名にご参加いただきました。

翌 10 月 12 日には、操業 50 周年を記念した地域交流イベント「2024 オータムフェスティバル」を開催し、はしご付消防車の体験乗車や、地元高校の生徒によるダンスパフォーマンスを披露いただき、地域の皆様、従業員やご家族と共に楽しみました。

YKK AP 東北製造所は、地域の環境保全および地球環境への貢献として、アルミと樹脂のリサイクルを進めています。今後も事業活動に関わるすべての工程において CO₂ の削減、資源の循環利用、生態系への配慮を徹底し、地域や自然環境と調和したモノづくりを進めて参ります。



（写真左）東北製造所 外観、（写真右）植樹の様子

【東北製造所 概要】

所在地	宮城県大崎市三本木字吉田 1
操業開始	1974 年 4 月
敷地面積	745,200 ㎡
延床面積	402,500 ㎡
製造所長	木田 秀隆
従業員数	1500 名（2024 年 4 月 1 日現在）
製造品目	樹脂窓、アルミ樹脂複合窓、玄関ドア、木質インテリア、エクステリア、ビルサッシ・カーテンウォール、産業製品